

センターからのお知らせ

4月より異動・配属となった職員のご紹介です。

デイホーム(相談員)
鴨下 弘毅(かもした こうき)



みなさんこんにちは！4月1日より調布若葉ケアセンターのDHで相談員として異動してきました鴨下弘毅(こうき)と申します。至誠ホームに入職して、丸12年がたちました。調布若葉に来る前は立川市の錦町でホームヘルプステーションのサービス提供責任者をしていました。過去には特養でも勤務していましたが、至誠ホーム内でも、DHでの勤務が長く、立川の柏町にある「柏センター」で3年、国分寺の「もとまちケアセンター」で7年と、DHでの経験が長くなりました。家族は妻と子供3人。趣味は週1回の5キロランニングに10年以上続けている草野球、そして、この調布市をホームタウンとするJリーグチーム「FC東京」をこよなく愛し、年間チケットを購入し続けてやはり12年になります。初めての勤務地で、土地勘もなく、皆様にはご迷惑おかけすることも多いと思いますが、一生懸命頑張りますので、これからどうぞよろしくお願いいたします。

デイホーム(介護職)
藤井 紀子(ふじい のりこ)



調布での夏体験ボランティアが、福祉への初めの一歩となり、平成10年に至誠ホーム入職、養護、ユニット型特養、実習担当で働き、出産を機に退職しました。再び調布若葉居宅で働いた後、4月よりデイサービスで働いています。ご利用者の方とご家族双方の気持ちに寄り添いながら、その方らしく過ごせる支援に取り組んでいきたいと思っています。皆さま調布若葉へもお気軽にお立ち寄り頂き、又ボランティアもいつでもお待ちしております。

介護相談センター(ケアマネジャー)
大場 理恵(おおば りえ)



4月1日に調布若葉ケアセンターデイホームから介護相談センターに異動となりました、大場理恵です。私は昨年8月から調布若葉ケアセンターに勤めております。平成16年10月から人と接する事が好きで、介護の世界に入りました。介護の世界は「人生の先輩に教えを頂き、一緒に時間を過ごしてもらおうこと」だと思っています。私の好きな言葉は「一期一会」です。その意味を忘れずに人と接していきたいです。でも、失敗も多々あります。その失敗を成果と言えるよう前向きな姿勢でいたい。介護保険制度の制約の中で自分のできることを頑張っていきたいと思っています。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

グループホーム(介護職)
山田 恭代(やまだ やすよ)



調布若葉ケアセンターオープン時よりお世話になり、契約職員から4月より正職員になりました。入居者皆さまが、楽しく・安心した暮らしのお手伝い、そして何より、私自身が楽しくお仕事をさせていただきます。いつも笑顔で大切に！宜しくお願いします。

グループホーム(介護職)
小野 扶佐子(おの ぶさこ)



4月よりグループホームに異動となりました小野扶佐子と申します。まだまだ、グループホームでの勤務に慣れず、日々奮闘しています。入居者の方々が、日々健やかで和やかな生活が送れることを願い、力を合わせて支援していきたいと思っています。今後とも、よろしくお願いいたします。

2014年 5月号 No5

若葉だより

〒182-0003 調布市若葉町3-1-5
TEL03-3326-7600
FAX03-3326-3040

新年度を迎えて



至誠ホーム調布若葉ケアセンター長 河合 晴夫

桜の開花と共に新年度を迎え、5月に入り新緑のまぶしい爽やかな季節となってきました。

平成24年1月に開設した調布若葉ケアセンターは今年で3年目を迎えることができました。平成25年4月には増加する認知症の方々の支援を行うデイホームを開設することとなり、今年の2月22日(土)には認知症の家族を介護する方々との家族交流会を行いました。交流会では、最初に職員が認知症についての主な症状や対応などを説明させていただき、その後ご家族から介護についてのご苦労やエピソードなどを話していただきました。これまで、元気に仕事や活動をされていた家族が認知症となり、その近くでお世話するご家族の心労や苦労は計り知れないものだと思います。会が進むにつれてご家族同士の話が弾み予定していた時間があっという間に過ぎました。今回の交流会が、ご家族の家庭でのゆとりなどにお役に立てれば幸いに思います。

3月9日(日)にはボランティア活動をしていただいている10名近くの方々との交流会を行いました。大村至誠ホーム副ホーム長からボランティア活動の意味と価値についての話のあと、昼食を摂りながら話に花が咲きました。ボランティアの中にはセンター開設前に行った、建築工事の住民説明会、認知症サポーター養成講座、ボランティア講座、開設記念セミナーなどに参加された方もお見えで忌憚のないご意見を伺うことができました。ボランティアのご意見を参考にさせていただきながら、ご利用者にとって過ごしやすく、ボランティアにとって活動しやすいセンターを目指していきたいと再認識しました。

4月になって、職員の異動、退職、採用など新たな年度を迎えました。センターのモットーである「若葉でいきいき」を基本に、今後ともご利用者の生き生きとした生活づくりの支援に努めさせていただきます。

デイホーム

デイホームでは3月下旬から4月の1週目にかけて梅見とお花見に出かけました。行き先は祖師谷公園、粕江団地、野川沿いなどでした。満開の桜を見ながら、春の訪れを感じ、楽しい時間を過ごしました。



活動のご紹介です

グループホーム

グループホームでは、3月下旬にユニット内でビアパーティーを行いました。ピザ・ドリア・フライドポテトなども皆で作りました♪また、アルコールの飲み物も飲み、楽しい時間を過ごしました。笑顔も多くみられました。



ご法話



グループホームの運営推進委員でもある、明西寺の佐々木住職にご法話をして頂きました。普段はなかなか聞くことのできないお話をしていただきました。